

第 426 回 例 会

22年8月27日

本日のプログラム

- ・ソング 「それでこそロータリー」
- ・卓話 クラブフォーラム
会員増強委員会 森本 良嗣 委員長
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 5階「ガーデンルーム」

次回(9月3日)のプログラム

- ・ソング 「それでこそロータリー」
- ・卓話 河田 英子 会員
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 5階「ガーデンルーム」
- ・第3回理事会 13:40～ 4階「桂の間」

9月の例会予定

- ◎ 3日 卓話 河田会員
- ◎ 10日 USJ例会(夜例会)
- ◎ 17日 クラブフォーラム(青少年・職業奉仕)
- ◎ 24日 休会

先週(8月20日)の例会報告

■会長の時間

科学ではそのメカニズムを証明できないものの、製薬業界や他業界での研究においてデータとして立証されている「人間の意志力」つまり、自分自身の肉体(細胞)や精神(気持ち)に対する「よりプラス効果が得られる考え方」や「意思伝達力の効能効果」について、2週連続でお話させていただきましたが、今日は、内ではなく外に向けた「伝達」「コミュニケーション」の重要性、特に文化や習慣の異なる海外の人を相手に意思疎通や相互理解するときに意識しなくてはいけないことについてお話しします。

日本は海に囲まれた島国で(方言や在日等はあるものの)日本語が通じる単一民族国家ですので、「他人と異なること」を無意識に嫌い、「自己主張が強すぎることを良しとせず、「黙っていても通じる＝以心伝心＝暗黙の了解」といったことで安心感を得る国民性があります。その為ビジネスのミーティングにおいて「意見が対立」とすると「その後仲良く一緒にお酒を飲む」ことは殆どありません。しかし、欧米のように多民族国家では「人それぞれ意見が異なる」ことが前提の為、議論を戦わせた結果「例え20%の合意しか得られなかった」としても、「0%⇒20%理解できた」として、「わだかまりなくお酒を酌み交わす」のです。

つまり「相手の主張することも良く聞き」「対立を嫌わず、反論があればちゃんと自分主張」することが重要です。「良いことを積極的にアピールする」のは「奥ゆかしくない」、「黙ってするのが美德」であっても、対外的には通用せず、誤解も招きます。今後ますますグローバル社会になっていく上で、「もっと日本の良さをアピール」することが、「日本の理解を高める」ことになるのです。

「日韓併合」が近年話題となっていますので、以下ご参考まで

- ① 日清戦争の勝利国である日本が講和条約の第一条に書き込んだのは、領土でも賠償金でもなく「朝鮮国の清国からの独立」
- ② 殆ど大衆が読み書きを出来ずに放置されていたため、日本が5200校の小学校を建て、「母国語の読み書きができるよう」に「ハングル語の教科書を用意」、文字を整備
- ③ 併合当時、韓国の平均寿命が24歳だったが、日本統治の間に2倍に延び、人口も倍増、米の収穫量が3倍となり、餓死が根絶。はげ山に6億本の樹木が植林され、100Kmの鉄道が6000Kmに延びた。
- ④ 当時世界最大級の水力発電所を昭和19年に日本が完成(これは、北朝鮮が国章に書いている水豊ダム)、これらインフラ整備に投下した資金は、日本国民が負担した約60兆円(現在価値に換算)

隣国と仲良くしていくためにも、先人達がアジアの近代化に貢献した業績を知って主張することも重要なのです。

【来客紹介】 2名

【出席報告】

22年8月20日(第425回例会)				
会員総数	出席免除会員	出席会員	欠席会員	出席率
27名	1名	22名	4名	84.62%

【幹事報告】

[メールBOXに配布]

- 1) 第2回理事会報告
- 2) プログラム変更のお知らせ
- 3) 第2660地区 各クラブ例会日一覧

〔回覧資料〕

- 1)ハイライト米山126号
- 2)米山梅吉記念館 館報(2010秋)
- 3)他クラブより例会変更(年間)のお知らせ(大阪阪南RC)

ニコニコ箱(8月20日)

- 秋山 千尋 =皆様 お盆は如何お過ごしでしたか。私は結局 会社時間に全て取られました。
- 川上 大雄 =本日 卓話当番。よろしくお願ひします。
- 河田 英子 =ちょっと嬉しいことがありました。三男坊が京都大学大学院修士課程に合格しました。うれしいです！
- 小林 知義 =水曜日、1万人の第九を歌うために初練習に行きました。1日目はドイツ語の発音の勉強でした。
最後まで続けられるかが心配です。
- 久保田秀一 =娘が久し振りにシアトルから帰ってきました。無事に帰ってきてよかったです。
- 森本 良嗣 =玉置SAAそして東委員長、早くからお当番ご苦労様です。
- 中井 周治 =8月6日・7日・8日と三女の「あいな」と友人がニコニコキャンプに参加させていただきました。
「バーベキューの肉がかたかった以外は大変楽しかった」と言っていました。来年はあごを鍛えて参加させます。
- 大屋 準一 =暑いですね。地球も熱中症で大変ですね。誰かが地球を冷やすように看病しなくては？
皆様 健康管理にご注意下さい。
- 鈴木 正明 =久し振りに東北福島に帰ってきました。田舎はいいですね・・・
- 玉置 栄一 =暑いです。でも景気は冷えたままです。困ったものです。

【SAA報告】

ニコニコ箱

本日計 11000円

今年度合計 3695616円

卓話(8月20日)

「ロータリーって何だろう！？ 最近思うこと 雑談」 川上 大雄 会員

前回の例会にて笹田幹事より卓話は もっと自分の言葉で話そうというご提案がありましたが、私もそのように思う一人です。
今回は少し誤解を生む言動があると思いますが、私の言葉でざっくばらんにロータリーのことを話してみたいと思います。

まず、ロータリーって、実に“ええかげん”やと思うんです。

何が ええかげんかと言うと まず、遅刻、早退しても ごめんねですんでしまうところ、休んでも別にいいかみたいな、約束事として救済処置としてメーキャップがあるわけですが、それもしなくても誰も咎めはしない。(これは厳格なクラブではありえないと思いますが)

一番ええかげんなのは単年度制ということで、その年が終われば 無罪放免みたいな感じで終わってしまう。等々 ええかげんなどころを上げれば切りがないんですが。

しかし、このええかげんさを 非難だけするのではなく、もうちょっとポジティブにとるとするならば、このええかげんさがいいんです。
何を言いたいかというと ロータリーの中ではほとんどのことが許されるということです。
このことは他の組織では類を見ない逆にええところではないのかと最近思います。

だから、このような卓話をさせていただいているわけですが、卓話を喜んでしている人って少ないっていうか、嫌がってる人が大半だ
と思うんですが、卓話にしても言いたいこと言えればいいんです。

皆さんはご自分の会社では社員に向かっていつも何か話されていると思います。その練習の場と思えばいいんです。

何か間違っても誰も非難も抗議もしません。

皆さん大らかなんです。それがロータリーの良さなんです。

しかし、ロータリアンとしてはずしてはならないことが一つあると思います。

それは何かと言うと 我々は社会に対して奉仕をしているということです。

そんなこと言われんでもわかってるわと皆さん思っておられますが、得てして誤解と認識不足があると思います。

奉仕とは何か！？ 先日も考えさせられる話がありました。

家で不要になったもの(服とか毛布とか)を被災地に送る。このことだけを聞くと困ってんだから ちょっとでも役に立つんだからいいじゃないみたいな話なんですが、実際、現地でほんとうに必要なものが何かってわかってない。必要なものが必要な人に手渡されるのであれば大いに結構です。

しかし、必要でないものがどっと送られてきたらゴミでしかないのです。

支援物資を送る先はごみ箱じゃないんですね。

また、アフリカなどで 井戸を掘るというボランティアがありますが、井戸を掘って、現地の貧しい人々が安全な水を飲めるようになってよかったよかったではないのです。

この井戸が完成してボランティアの人たちが帰ったあと、皆さんは何が起こっているかご存知でしょうか！？

ボランティアの人たちが帰ったあと、この井戸をめぐる部族間どうしの占有権を争う死者が出るような血みどろの抗争が始まるのです。

こんなことを知ると 奉仕だか何だかやっていることがいいことだか悪いことだかわからなくなります。

私たちロータリアンがはずせない一線、これは我々ロータリアンがやっていることが本当に人のためになっているのかどうか、その追求を怠ってはならないということです。

この一点を真剣にプレずに議論し、追求していく仲間であれば 後は楽しく恥かいても何をしても大らかなロータリー、みんなで和気あいあい楽しいロータリーが実現できると思います。

大阪ユニバーサルシティRC URL: <http://www.osaka-ucrc.org/> E-mail: ucrc@osaka-ucrc.org 創立: 2001年3月27日
事務局 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルホテル401号室 TEL: 070-5020-6459
会長: 斎藤清貴 幹事: 三宅一郎 会報担当: 大橋高志 例会: 毎週 月曜日 12:30~13:30 リーガロイヤルホテル

4つのテスト / 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか